

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/06/01号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



続落、イラン情勢の改善期待を織り込む

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル台後半まで値下がりし、4月21日以来の安値を更新した。トランプ米大統領は5月23日、イランに関する合意がほぼ成立し、近日中に最終的な内容を発表する予定と自身のSNSに投稿している。その後は目立った進展が見られなかったが、週後半には米国とイランが停戦を60日延長することで暫定合意したと伝わったことを受けて、90ドルの節目を完全に割り込んだ。暫定合意については、週末までにトランプ米大統領の承認を得ることはできず、先行き不透明感を残したが、原油市場ではホルムズ海峡の通航再開に楽観的な見方が織り込まれた。

原油需給のひっ迫感は一段と強くなっている。ホルムズ海峡は依然として事実上の封鎖状態にあり、各国の原油・石油製品在庫は急速に失われている。今後は北半球が夏のエネルギー需要期に向かうため、需給ひっ迫感は一段と強まるリスクが高い。ただし、原油相場は「足元の需給ひっ迫」よりも「将来のホルムズ海峡の封鎖解消の可能性」を重視しており、戻り売り優勢の展開が維持された。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月22日時点）は、原油が前週333万バレル減、ガソリンが257万バレル減、石油精製品が211万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

イラン和平期待だと一段安を打診、需給ひっ迫は加速するも

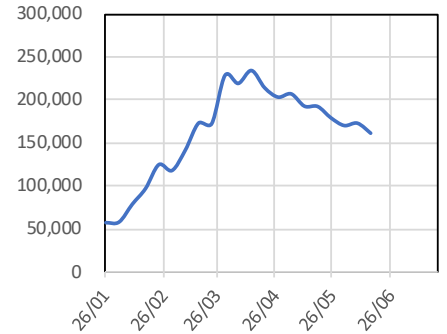
イラン情勢に強く依存する展開が続く。米国とイランが和平合意に達し、ホルムズ海峡の封鎖が解消される見通しが織り込まれると、このまま一段安が試される。足元では、和平合意の前段階として停戦期間の延長が協議されているが、米国とイランの双方が歩み寄りを見せているとの評価が維持されると、前週の90ドル割れからさらに80ドル台前半を試す可能性もある。特にホルムズ海峡の封鎖解消に向けた日程など、具体的な議論が活発化すると、期近限月を中心とした値下がり傾向が維持されやすい。原油相場は、要人発言や報道のヘッドラインに敏感に反応する傾向が強まっているため、特にトランプ米大統領から和平合意に向けた前向きな発言が聞かれると、値下がりペースが加速する可能性もある。

問題は、あくまでも米国とイランの和平合意を期待した値動きであり、実際の原油需給は時間の経過とともに逆に引き締まっていることだ。ホルムズ海峡の通航は依然として事実上の停止状態にある。一部船舶の通航も報告されているが、原油輸送の混乱状態に変化は生じていない。このため、世界的に在庫の取り崩しが続いており、国際エネルギー機関

(IEA) や国際通貨基金 (IMF) などは5月29日、ホルムズ海峡を通行する船舶の航行が正常化しない場合、北半球の夏の石油需要のピークを前にリスクが増大すると警告を発している。このため、米国とイランの和平合意への期待が大幅に後退すると、改めて足元の需給ひっ迫状態を織り込む形で、原油相場は急伸するリスクを抱えていることに注意が必要だ。

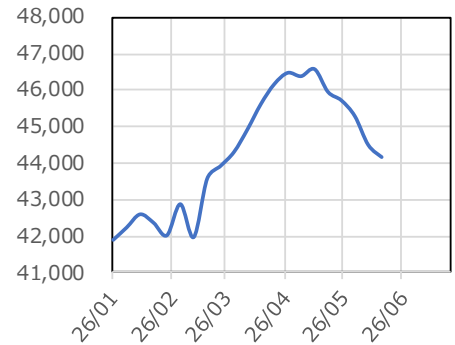
月初の米中製造業指標が発表されるほか、6月7日に石油輸出国機構 (OPEC) プラスの会合が予定されていることがイベントリスクになる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



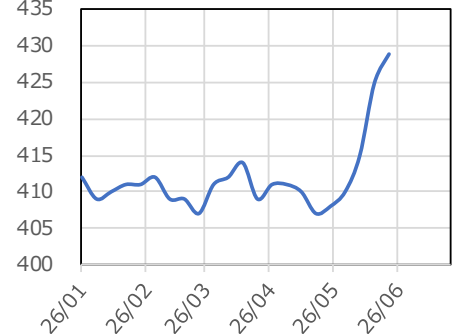
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

